

令和3年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和4年2月21日  
函館市立北昭和小学校

1 本年度の重点教育目標

ともに考え、ねばり強く、学び続ける北昭和の子

2 本年度の取組の重点

- ① 全職員が協働の意識をもち、組織として児童の健全育成と学力向上の保障に努める。
- ② 学習指導の工夫・改善、支援の充実を図り、日常授業の改善に努める。
- ③ 児童の自主性、実践的な態度と道徳性の育成を目指した学年・学校経営の充実を図る。
- ④ 道徳教育を充実させ、いじめのない、思いやりのある学校の構築に努める。
- ⑤ 専門性を生かし、特別な支援・配慮を要する児童への適切な指導の実施に努める。
- ⑥ 学校組織を機能させ、家庭・地域との連携を図り、開かれた学校づくりを推進する。

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
① 組織力の向上	・全職員が協働の意識をもち、組織として児童の健全育成と学力向上の保障に努める。	a	・「凡事徹底」を合い言葉に、重点教育目標の達成に向け、業務改善と働き方改革の充実のために、職員の共通理解の下に取り組むことができた。	A	B	・全職員も子ども達と楽しい学校生活を送ってほしいと思います。
② 学力向上	・学習指導の工夫・改善、支援の充実を図り、日常授業の改善に努める。	b	・ICTを積極的に活用しながら教科の特質に応じた指導に努めてきたが、今後も、基礎・基本の定着、ねばり強く学ぶ態度の育成を図り学力の向上に努めたい。	B	B	・一人ひとりの学習の遅れの対応もお願いします。
③ 学年・学級経営の充実	・児童の自主性、実践的な態度と道徳性の育成を目指した学年・学校経営の充実を図る。	a	・子ども理解を基盤とした望ましい集団活動を通して、子ども一人ひとりの自己実現を支援することができた。	A	A	
④ 道徳教育の充実	・道徳教育を充実させ、いじめのない、思いやりのある学校の構築に努める。	b	・道徳科の授業の質的な向上、情報モラル教育の充実により、学校の教育活動全体を通じて道徳性の育成を図りたい。 ・本校の道徳教育の取組について、機会を捉え発信していく必要がある。	A	A	・一番難しい取組だと思えます。 ・引き続きよろしく申し上げます。
⑤ 特別支援教育の充実	・専門性を生かし、特別な支援・配慮を要する児童への適切な指導の実施に努める。	a	・特別支援コーディネーターを中心に、全教職員の共通理解により支援体制の充実に努めた。 ・函館市南北海道教育センターや函館市サポートチーム等の関係機関との連携を図ることができた。	A	A	
⑥ 地域とともに歩む学校づくり	・学校組織を機能させ、家庭・地域との連携を図り、開かれた学校づくりを推進する。	b	・子どもの変容する姿で地域や保護者の信頼に応える教育活動の推進に努めた。 ・新しい学校生活様式を踏まえた教育活動の推進への協力を呼びかけたい。	B	B	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。